

国家安全保障から 真の安全保障へ：韓国

2021. 12. 17
South Korea

イ・キホ
韓信大学

なぜ「軍事」が問題か？

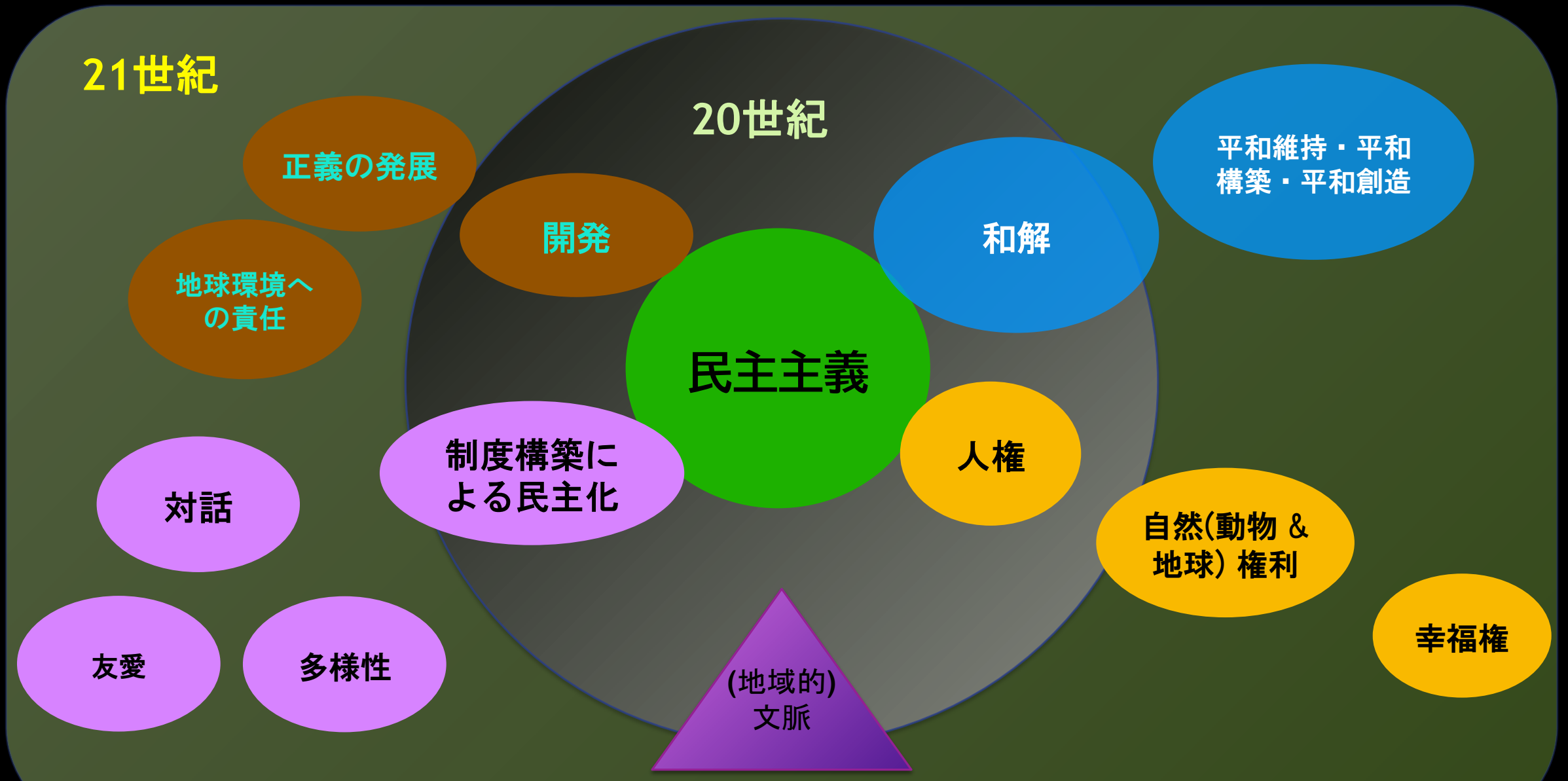
- 「軍事ファースト」とは何か？
- 「安全保障ファースト」とは何か？
- 恐怖はどこから来るのか？
- 敵は誰なのか？脅威とは何か？

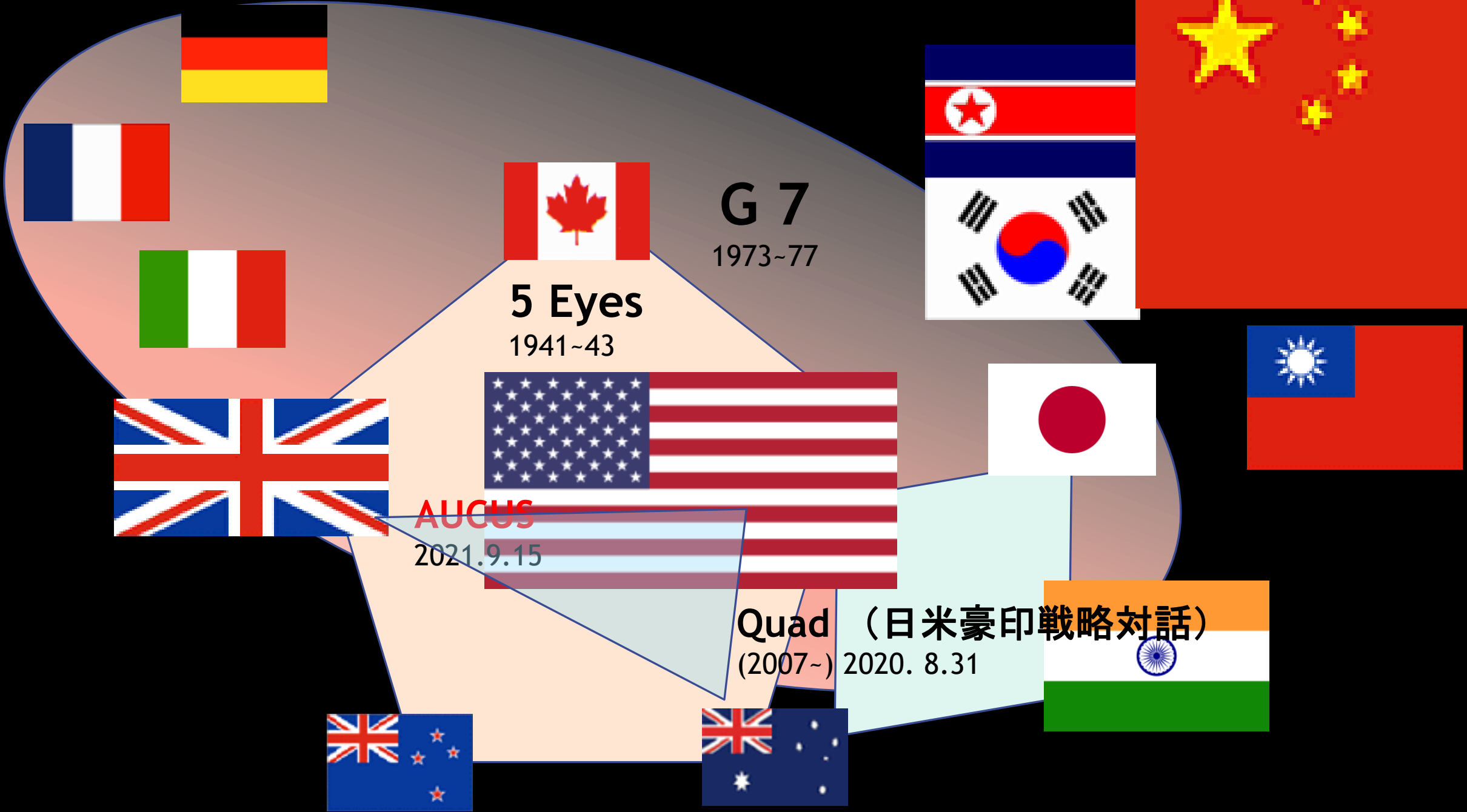
何が‘安全保障’を呼び戻しているのか: DemoCrazyの危機

不確実性の増大とファシズム心理の台頭

- モラルなき国益の追求
 - ‘国家’の失敗: 米国: MAGA(「アメリカを再び偉大に」), 英国: BREXIT, : 強い日本(憲法9条), 中国: Rise of Great Power(大国崛起), 北朝鮮: 核保有国, ….. Etc
- ‘帝国’の復活: G7-G20-G2 → 新たな世界秩序に向けた競争
 - 帝国の主要リソースの兵器化: 軍事/資本/文化/技術
- 同盟外交の復活: 民主主義は敵を必要とする
 - 安全保障ファースト、軍事費の増大、敵の特定(悪魔化)
- 不公平性の加速: 市場の変容(労働→ 貨幣→ プラットフォーム)
 - 象徴的な現象: Netflixのイカゲーム

真の安全保障のためには民主主義だけでは十分ではない…





G 7
1973~77

5 Eyes
1941~43

AUCUS
2021.9.15

Quad (日米豪印戰略對話)
(2007~) 2020. 8.31

- 深まる新冷戦の危機(戦争の可能性)
 - 安全保障における他のアクターの力が弱まる一方で、‘国家’が一層力を増している。
 - 新冷戦は‘国家’を国際社会における中心的アクターに据え、絶対的な意思決定権を与えている。
 - 新冷戦は世界を「米国側」「中国側」の2つに分断させている。
 - 軍事同盟はそれに加担することを強制し、軍事演習が増加している。
- どのようなシナリオがあり得るか？
 - 東アジアにおける戦争の可能性の増大。台湾問題だけでなく、北朝鮮問題、そして米国の強力な同盟国である日本との間の領土問題もある。
 - 南北朝鮮: 関係国間の終戦宣言？ 持続可能な平和プロセス？
 - 軍事力に依拠しない、香港、台北、沖縄、長崎、ソウル、東京といった都市間の連携を基盤とした新しい平和のためのイニシアティブ→ 都市主権
 - 国境を越えた人々の協力（政府によるものではなく） → 国際平和部隊(友情、信頼、相互尊重)
 - 国家利益・国家安全保障にとらわれない、平和と繁栄のための市民社会による国境を越えた連帯のイニシアティブ